

第2号様式の3

平成28年度第3回法務省総合評価委員会審議概要

開催日及び場所	平成29年2月21日(火) 15:00~16:05 法務省大臣官房施設課入札室		
委員	角田 茂 (大学監査室長) ※委員長 只木 誠 (大学教授) 遠藤 和義 (大学教授)		
審議対象期間	平成28年8月1日から平成28年11月30日まで		
【工事】		(備考)	
抽出対象案件	総件数 1 件		
類 型	技術提案評価型 S型		0 件
	施工能力評価型 I型		0 件
	施工能力評価型 II型(一般タイプ)		1 件
	施工能力評価型 II型(小規模タイプ)		0 件
【業務】		(備考)	
抽出対象案件	総件数 0 件		
類 型	標準型		0 件
	簡易型		0 件
委員からの意見 ・質問, それに 対する回答等	意見・質問	回 答	
	別紙のとおり	別紙のとおり	
委員会による 意見の具申又は 勧告の内容	具申又は勧告	回 答	
	なし	なし	

別紙

意見・質問	回答
<p>(議題) 総合評価落札方式の実施状況について 特になし。</p> <p>(議題) 抽出案件の審議 水戸法務総合庁舎構内整備工事[施工能力評価型Ⅱ型]</p> <p>本件の落札者は、総合評価の評価対象である技術資料を提出しておらず、加算点は0点となっているが、品質向上という総合評価の趣旨を考えれば、このような総合評価を希望しない者は、欠格として入札参加を認めないこととすることは考えられないか。</p> <p>総合評価落札方式の対象となる工事は、どのように決まるのか。</p> <p>(議題) 総合評価落札方式運用要領の改正について 特になし。</p>	<p>会計法の原則は価格競争で、価格とそれ以外の要素を総合的に評価する総合評価落札方式は例外であること、入札手続の競争性を確保する観点からは、競争参加資格は広く認めるべきと考えられることなどから、御意見のような取扱いは消極と考えます。</p> <p>総合評価落札方式運用要領に基づき、工事概算額が一定金額未満の工事を除き、原則として全て対象としています。なお、総合評価の類型については、工事内容によって上位の類型を適用すべきとしたもののほかは、原則として工事概算額によって決めています。</p>